

NCCU NEWS

組合員のみなさんへ

感染防止対策第 25 号

2020年9月4日発行

UA ゼンセン日本介護クラフトユニオン

発行人 事務局長 染川 朗

編集人 政策部門長 村上 久美子

連絡先 Tel 03-5730-9381

Fax 03-5730-9382

介護従事者の約 9 割が PCR 検査の公費実施を切望！

感染防止対策第 24 号にてお願いしました緊急アンケートについて、992 事業所から回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。

緊急アンケート結果

1. 介護事業所で働く職員(全職員)は、公費で PCR 検査を受けられる方が良い と思いますか？			「はい」 87.5%		
理由:1-a「はい」と答えた方。		人数	%	1-b「いいえ」と答えた方。	
ご利用者は感染すると重症化リスクが高い高齢者であり、感染させてしまうと命にかかわる	801	92.3%	「全職員」ではなく、職種等を限定すれば良いと思うから	36	29.0%
職員自身が感染の有無を把握できることで、安心してサービス提供を行える	750	86.4%	PCR 検査は、検査時点での結果でしかないから(定期的に受けないと意味がない)	36	29.0%
職員が陽性者ではないことが明確になれば、ご利用者も安心してサービスを受けられる	660	76.0%	検査で陽性者が出た場合、代替の職員を確保することが難しいから	35	28.2%
介護事業所の職員が PCR 検査を受けていることが明確になれば、利用控えが減ると思う	243	28.0%	財源が税金なのであれば、税金の無駄遣いだと思うから	31	25.0%
2. あなたは、このコロナ禍によりメンタル面で不安・負荷を感じていますか？			「はい」 97.1%		
理由:2-a「強く感じる」「感じる」「少し感じる」と答えた方。		人数	%		
ご利用者は感染すると重症化リスクが高い高齢者であり、命にかかわることから、「もし私が感染してウイルスを媒介してしまったら・・・」と思うと、精神的な不安を感じている	854	88.3%			
介護従事者は、一般の方以上に生活をするうえで様々な自制と自粛が必要だから	699	72.3%			
業務上、濃厚接触が避けられないため、自分自身が感染してしまうかもしれないから	536	55.4%			
サービス利用者から職員に対して、「ウイルスを持ってこないでくれ」「本当に陽性者ではないんですね？」といった発言等をされ、精神的負荷を感じたことがある(感じている)	171	17.7%			
ご利用者が、職員からの感染リスクを考え、利用を控えていることに精神的な負荷を感じている	167	17.3%			

3. 介護事業所で働く職員（全職員）が PCR 検査を受けることは、 介護従事者のメンタル面の負荷の軽減や払拭に有効だと思いますか？	「はい」 83.7%
4. 施設入所予定者に、入所前に PCR 検査を受けてもらうことは、 高齢者施設等でのクラスター発生防止に有効だと思いますか？	「はい」 94.1%

NCCUの見解（抜粋）

8月24日、東京・世田谷区において全介護従事者と施設入所予定者の入所前にPCR検査を公費で実施することが発表された。以前から、NCCUには積極的PCR検査を求める声が多く届いており、現場の介護従事者は今回の区の施策をどのように考えるのか、8月27日～30日、緊急アンケートを実施した。

その結果、介護従事者の87.5%が公費でPCR検査を希望していることがわかった。

一方、PCR検査を公費で受けることに対して12.5%は否定的な回答をしている。中でもその理由として、「検査で陽性者が出た場合、代替えの職員を確保することが難しいから」とした方が28.2%いることは特に注視すべきである。介護従事者がこのような思いになる最も大きな要因は、介護業界の喫緊の課題である「人材不足」である。新型コロナウイルスに感染している可能性があったとしても、「代替えの職員がいない」という理由でPCR検査を受けずに業務を続けていた場合、知らない間に感染が広まりクラスターが発生することは容易に想定される。このことから、「人材不足」は感染防止策を実施する上での障害となっており、早急な改善が必要である。

また、新型コロナウイルス感染症による影響は、介護従事者のメンタル面にも及んでおり、97.1%が不安・負荷を感じていると回答しており、コロナ禍の生活が長く続くことが介護従事者のメンタル面へ大きな負荷をかけていることが分かった。

さらに、「介護事業所で働く職員がPCR検査を受けることは介護従事者のメンタル面の負荷の軽減や払拭に有効だ」と83.7%が回答している。そのため、全介護従事者への公費でのPCR検査は、介護従事者のメンタル面の負荷を軽減させるためにも、極めて有効な施策であると言える。

介護現場では、新規施設入所者が入所時に新型コロナウイルスに感染しており施設内で感染が拡大した事例もあり、入所前のPCR検査は94.1%がクラスター発生防止に有効だと回答している。

NCCUは、このような体制が全国的に広がれば、介護施設でのクラスター発生防止はもちろんのこと、介護従事者は安心してサービス提供ができ、ご利用者も必要なサービスを安心して継続利用することができる、という観点から、改めて「全介護従事者への公費での定期的なPCR検査の実施」を求めていく。

なお、今回の結果については、9月2日（水）にマスコミ等へ発表するとともに、関係議員とも情報を共有することによって、介護従事者の声を国へ届けました。

期間限定

「介護報酬改定 50 万人署名」Twitter を開設しました！！

右の QR コードからアクセスできます。ぜひフォローお願いします。

